

災害と福祉のまちづくり連続セミナー【第3回】

原子力災害とマイノリティ

福島第一原子力発電所の事故により、これまで経験したことのない長期、広域避難が強いられ、10年経過した今もなお復興の見通しは立っていません。そのような中で、未知の放射能汚染による被害を危惧する人たちは、心配することが風評被害と非難され、語ることもできないマイノリティとなっています。また、今もなお故郷に戻ることができない避難者の存在は語られることが少なくなりました。

原子力災害の語られない被災者、語るができない被災者の今を知り、これからのまちづくりを考える機会として開催します。

(オンライン開催・文字通訳あります)

【主催】日本福祉のまちづくり学会 災害研究・支援委員会

【共催】公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

【後援】大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター未来共生プログラム

【日時】

2021年10月23日 (土) 14:00-16:30

基調講演：

「原発事故と女性たち 差別・分断をめぐる課題と向き合う」
清水奈々子氏 (宇都宮大学・准教授)

基調報告：

「福島原発事故災害から10年。福島の汚染の現状と子どもたちの様子」
飯田 亜由美氏
(認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね・理事)

総合ディスカッション

コーディネーター：長谷川万由美 (宇都宮大学)

【参加費】日本福祉のまちづくり学会員・学生(院生)・講演者関係者 無料
一般参加者(上記以外の方) 1000円

【参加方法】

下記のURLの申し込みフォームから申し込みください。
後日、登録いただいたメールアドレスに参加URLを送付します。
<https://eventregist.com/e/saigai3>



【問い合わせ】

大阪大学大学院人間科学研究科 附属未来共創センター
石塚裕子 (y-ishizuka(アットマーク)hus.osaka-u.ac.jp)

連続セミナー概要

第1回 (2021年3月7日,23日) 東日本大震災の被災地当事者の10年 (実施済)

第2回 (2021年7月10日) 水害から「命を守る」福祉のまちづくり (実施済)

第3回 (2021年10月23日) 原子力災害とマイノリティ

第4回 (2021年12月頃) (仮題) 災害の新たな課題への備え

第5回 (2022年3月頃) (仮題) 誰もが助かる社会に向けて

